

生徒・保護者向け 図書館だより

Breeze ~図書館からの風~

令和6年12月2日

Vol. 8

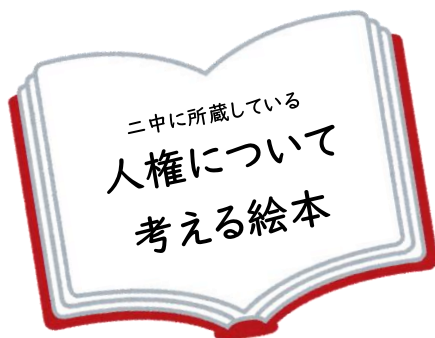
文責 大田二中図書館司書

12月2日～6日は、二中人権週間です！

人権とは？



「人が幸せに生きるための権利」のこと。
お互いに相手の立場に立って考え、思いやりの心を持って行動することが大切です。



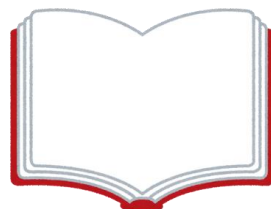
みえるとかみえないとか
ヨシタケシンスケ著 アリス館

『目の見えない人は世界をそう
見ているのか』をきっかけに作
られた絵本。視覚障害に限らず
同じ部分は共感し合い、ちがいに
気づき、認め合うことを楽し
もうと呼びかける本。



サンタのおばさん
東野圭吾著 文藝春秋

Xmas 目前、恒例のサンタ会議でア
メリカ支部の後任候補としてやって
きたのは女性。会議は大騒ぎに！
「なぜサンタクロースは男性だと決
めてかかるのかね」さて初の女性サ
ンタは誕生するのか？ジェンダーや
人種差別にも触れる本。



わたしのせいじゃない
-せきにんについて- 岩崎書店
レイフ・クリスチャンソン著

学校の休み時間に起こったいじめ
について、それぞれが意見を述べ
ていく。加担してないから？本人
に理由があるから？傍観や無関心
が引き起こすことはなんだろう。

「いじめ」「性別で役割を固定的にとらえる男女差別」
「障害のある人への差別」「インターネットを使った
誹謗・中傷・差別を広めるなどの悪質行為」等は、
すべて相手の「人権」を踏みにじる行為です。

人権について考える本



蝶の羽ばたき、その先へ

森埜こみち 著

小峰書店



聞こえないひとの表情はゆたかだった。というか、表情もふくめて手話だった。

中学2年の結は突発性難聴にかかり、片耳が全く聞こえなくなった。それを親友にも伝えられず、落ち込む日々を過ごす。そんな中、手話に興味を持った結はサークルに参加し、聞こえない自分と向き合っていく。

温室デイズ

瀬尾まいこ 著

角川書店



これ以上ひどい目に遭いませぬように、早く一日が過ぎますように。それだけだ。早く早く卒業式が来てほしい。毎日本気でそう祈っていた。

規律が崩壊している学校をあと半年で卒業…、そんな時優子は嫌がらせを受け、正義感の強い親友のみちるは優子を守ろうとして逆にひどいじめを受け始める。学校は「温室」なのか？必死に考え行動する二人を描く。

with you

濱野京子 著

くもん出版



わたしががんばるしかない。だって、逃げるわけにはいかないでしょ。けど…。

受験勉強の合間の夜のランニング中、中学3年の悠人は公園に一人いる朱音と出会う。度々会い、話しているうちに朱音が母と妹の世話をする「ヤングケアラー」だと知る。重いテーマと恋愛をからめた物語。

水を縫う

濱野京子 著

集英社



わかってもらえるわけがない。どうして勝手にそう思いこんでいたのだろう。

弟、清澄の趣味は刺繍。姉の水青は「かわいい」ものが苦手。そんな姉のためにシンプルなウエディングドレスの製作に励む。家族全員が男女の固定概念にとらわれず、自分らしく生きることを探す成長の物語。

校長先生に購入していただいた本(毎月1冊・司書のセレクト本を寄贈していただいています)



赤の他人だったら、どんなによかったか 吉野万理子 著 講談社

自分の親戚が、隣町で起こった事件の加害者だった…？中学2年生の風雅は親から聞き、激しく動揺する。自分が風雅の立場だったら、どのように考え、行動するか。考えさせられる1冊。